

篠竹(シノブ)退治第一弾完了

7月15日(日)、午前7時に19名の精鋭が集結。活動フィールドに至る道の草や里山に繁茂している篠竹(シノブ)を刈りました。

山中は涼しいといいながらも、当日は全国的にも真夏日となったことが報道されており、赤坂も夏の晴天に恵まれたことから大変暑く、メンバー全員、汗だくになりながらの作業でしたが、草刈機11台のパワーが、広大な範囲の整備を実現しました。



自走式の草刈機も出動して大活躍



通路も設備



急峻な地形と戦いながらシノブを刈った里山。このクヌギを利用して晩秋からキノコづくりを始めますが、木を伐採するまでに、あと2回程度、草やシノブを刈りたいものです。

当日は、ランヤ襦など、里山から少しの恵みを戴きました。幹から蜜の湧き出たクヌギもあり、クワガタやカブト虫を採取する森として開放してとの意見も出ていました。

課題が見えてきました

活動フィールドに至る道では、並行している水路等の侵食により、道が寸断されている箇所があります。ユンボを借り上げての作業を計画しておりますが、土のう袋を積む作業等が必要となります。

また、活動フィールドには階段を造らなくてはならない箇所もあります。

更には、今回刈り倒したシノブを集めての焼却処分や、もっと広範囲でのシノブ退治などが必要です。ほちほちと作業を進めてまいりたいと考えていますので、ヨロシク



次回作業は、7月29日(日)。午前7時市役所集合

里山への進入路の整備と、今回刈ったシノブの搬出を7月29日に実施します。真夏の作業ですので、2時間程度で終了したいと考えていますので、皆様の参加をお待ちしております。進入路の整備は、上記写真の急な箇所に、里山を侵食している真竹を材料として階段を造ります。シノブは、休耕田まで搬出し、冬の焼却に備えます。今回の作業でも証明されましたが、マンパワーは絶大です。階段作成班とシノブ搬出班に皆様の積極的なご参加をお願いします。

メンバー募集キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。大変な作業も大人数で実施すれば、比較的容易に出来ます。興味のある方は事務局である観光商工課武田まで